

## 自然再生学会誌原著論文・報文投稿規程

(平成 25 年 2 月 14 日改定：変更点は赤字)

自然再生学会全国大会において原著論文・報文（以下、論文とする）を発表しようとするものは本規定により投稿するものとする。

### 1. 投稿資格

論文の著者については、会員でなければならない。共著の場合、著者の少なくとも 1 人が会員であることが必要である。講演会で発表する論文は 1 人 1 論文とする。ただし、講演者が他の論文の著者になること、口頭発表の共同研究者になることは妨げない。

### 2. 投稿要領

論文は本文を和文とする。和文での投稿が困難な場合などは編集委員会と協議の上、英文での投稿を認める。投稿の際は規定の投稿票を添えて投稿するものとする。論文の構成は以下のとおりとし、カメラレディー原稿として提出すること。また、論文の提出にあたり、口頭発表用の要旨を提出することとする。口頭発表用の要旨については口頭発表作成例に従うこと。

#### 1) 原稿の書式について

A4 版の用紙で横書きとする。用紙の余白は上端 3cm、左右両端ならびに下端 2cm 開けることとする。また通しページ番号を下端中央に付すこととする。読点は「,」、句点は「。」を用いる。

#### 2) 原稿の構成について

原稿の構成順序は以下の通りとする。表題、和文要約、キーワード、本文、謝辞（必要な場合）、引用文献、英文要約（原著論文では必須、報文の場合は任意）

#### 3) 表題について

表題を行中央にフォントはゴシック体、18 ポイントで配置し、副題がある場合、フォントはゴシック体、11 ポイントとする。また表題の下に著者名・所属を表記すること。

#### 4) 要約について

和文要約は表題と同じページに収まるようにし、フォントは明朝体、10 ポイントで、300 字程度とする。原著論文には英文要約が必須であり、引用文献の後に配置する。

フォントは Times-New-Roman、10.5 ポイントで、200 語程度とする。なお、報文の場合も任意で英文要約をつけてもよい。

#### 5) キーワードについて

5つ以内とする。フォントは明朝体（斜体）で 10.5 ポイントとする。

#### 6) 本文について

本文中の見出しレベルは、章、節、項の 3 段階までとする。章の見出しはゴシック体とし、I. などのローマ数字に続けて書くこととする。また、章の見出しの上に 2 行、下に 1 行、空けること。ただしページが切り替わった時は見出しが最上部に来るように調整すること。

節の見出しもゴシック体で 1. などの数字に続けて書くこと。章の見出しの上だけ一行空けなけ

ればならない。項の見出しは、ゴシック体で (1)などの括弧付き数字を付けること。上下は空けなくてよい。項より下位の見出しは用いてはならない。

#### 7) 表・図・写真について

表・図・写真は本文中に入れ、「表-1」、「図-1」のように通し番号をつけること。タイトルは、表は上側、図・写真は下側にそれぞれ明記すること。また表・図内の文字サイズは、8 ポイント以上小さくならないように注意して作成する。

#### 8) 引用文献について

引用文献は本文中に引用されたものに限る。1), 2)・・・n)のように本文の該当する箇所の右肩に記載する。

下記に引用文献の項目順序の記載例を示す。

和文論文の場合 美尾塔夫・生態花子 (2009) : ○○に関すること. ○○学会誌, 11 (7), 140-149.

英文論文の場合 Bio, T. and Seitai, H. (2009): ○○nikansurukoto. journal of bio-tope, 2 (1), 23-29.

著者の場合 美尾塔夫 (2009) : 『○○文化論』. ○○出版.

編著者の場合 生態花子 (2009) : ○○における計画理念(美尾塔夫編, 『○○学』). ××書店, pp115-130.

英編著の場合 Seitai, H.(2009): ○○nikansurukoto: In Bio, T and Seitai, H. (eds.), ○○hon, pp.61-85

ウェブサイトの場合 美尾塔夫 : ○○の理念 <http://www.○○.index.htm>

#### 9) ページ数について

刷り上り 8 ページ以内とするが、超過するものは超過ページの印刷代を著者が自己負担する場合のみ許可する。またカラー印刷も著者が自己負担する場合のみ許可する。なお、ページ数の上限を 12 ページとする。

### 3. 審査について

提出された原著論文は編集委員会が依頼する査読者によって審査を行う。審査結果は A (掲載可), B (条件付き掲載可), C (修正後再査読)、D (掲載不可)のいずれかとする。

また、提出された報文は編集委員会によって採否を判断する。

### 4. 発表の義務

掲載が受理された論文は、著者が自然再生学会全国大会において発表しなければならない。

### 5. 著作権

本会が発行する自然再生学会誌に発表された論文の著作権は、本学会に帰属するものとする。ただし特別な事情により学会帰属が困難な場合は協議する。

## 6. 原稿の送付

原則メールでのみ原稿受付をする。

電子ファイル(ワード 97～2003 形式を下記メールアドレスに提出すること。

E-mail : [shizensaiseiml@yahoo.co.jp](mailto:shizensaiseiml@yahoo.co.jp)